

2022年04月25日 地域情報サイト「はなてん界限」に掲載
<http://hanaten-eki.blog.jp/archives/86131221.html>

祝☆東久邇宮記念賞を受賞

NPO 法人夢検定協会の琵琶博之さん取材してきました

はなてん界限でも以前から注目していた NPO 法人夢検定協会。

これまでに NPO 法人を設立申請する前と、設立イベントを実施した際に取材させて頂いていました。今回、代表理事である琵琶博之さんが、東久邇宮記念賞(ひがしくにのみやきねんしょう)という名誉ある賞を受賞されたと聞き、取材してきました。

Q.東久邇宮記念賞とはどのような賞ですか。

「大きな発明ばかりを尊ぶのではなく、小さな発明やアイデアも同じように尊ぶべきである。」というのが理念であり、大衆のノーベル賞とも言われているようです。

東久邇宮記念会は昭和 38 年に発足していますので、かなり歴史のある賞だといえると思います。

Q.受賞にはどのような点が評価されたのですか。

受賞理由が公開されていないので、正確にはわかりません。

夢検定協会の法人ではなく、個人としての受賞になります。

受賞の目安には、「産業、特に発明活動に従事し、その振興に携わっていること。」「人格的にも優れ、将来への展望を持ち、努力を怠らない者。」などの記載があります。

そのため、「夢検定」で商標権を取得し、全国初となる夢の資格試験を立ち上げたことが、アイデアが新しいと評価されたのだと理解しています。

また、過去に 2 度、マニフェスト大賞優秀賞を受賞しています。

この賞は「地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の、優れた活動を募集し、表彰するもの」で、その実績も考慮されたのかも知れません。

他には、2021 年 4 月から同志社大学大学院のソーシャル・イノベーションコースに進学し、社会課題などを研究しています。

このことも受賞基準にある「将来への展望を持ち、努力を怠らない者」に該当したのかも知れません。

Q.受賞を聞いた時の感想はいかがでしたか。

正直言うと、東久邇宮記念賞のことを知らなかったです。

そういう賞があるのかという程度の認識でした。

しかし、東久邇宮記念賞のことを知れば知るほど、本当に名誉ある賞を頂いたのだということと、その賞

に相応しい活動をしようとあらためて思いました。

Q.はなてん界限をご覧の皆様には何かメッセージはありますか。

東久邇宮記念賞は法人には賞を与えていません。

そのようなこともあり、今回は個人での受賞になりました。

しかし、受賞理由を推測すると、本来はNPO 法人夢検定協会で受賞していたのだと考えています。

夢検定協会の活動に関わって頂いた方すべてのおかげで受賞できたと思っています。

本当にありがとうございます。

夢検定協会はまだまだスタートしたばかりです。

今後とも地域の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

今後のご活躍を祈念いたします。

放出発祥の夢検定協会、今後も注目していきます。



東久邇宮記念会の表彰式での写真。琵琶博之さん提供。